

「(仮称) 渋谷区道玄坂二丁目開発計画」について
～渋谷全体の発展に寄与する開発計画のお知らせ～

株式会社ドンキホーテホールディングス（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：大原孝治）を事業主とする「(仮称) 渋谷区道玄坂二丁目開発計画」の概要についてお知らせします。

近年、渋谷駅周辺では大型の開発が進み、今後も複数の新たなタワーの完成が予定されているなど、渋谷駅周辺は大きな転換期を迎えようとしています。一方で、渋谷全体の活性化や回遊性の向上という観点から、駅近辺だけではなく周縁部の開発も重要な役割を果たします。地上 28 階、地下 1 階、高さ 120m、敷地面積 5,737 m²、延べ床面積 40,950 m²の大型開発となるこの度の「(仮称) 渋谷区道玄坂二丁目開発計画」においても、渋谷全体の発展の一端を担うことなどを目標に開発を予定しています。



[建物イメージ（※計画中のため形状等が変更となる場合があります）]

■一般の方のお問合せ先

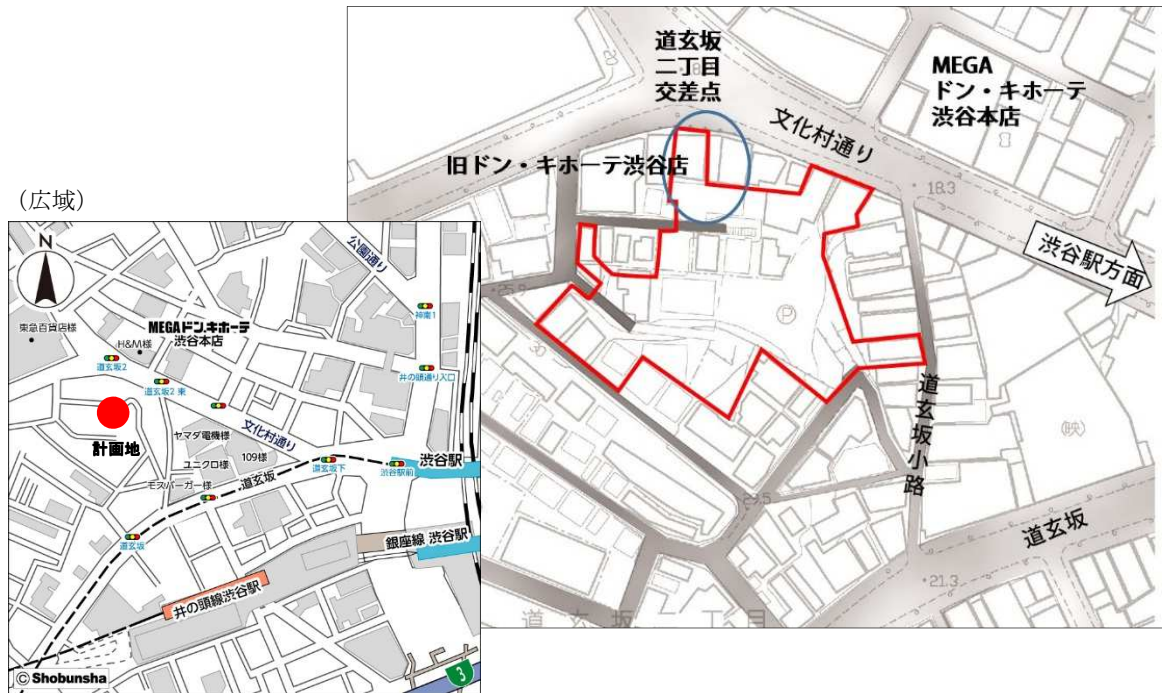
総合窓口
株式会社オリジナルワーク
【電話】03-3868-3001

■報道関係の方からの問合せ先

株式会社ドンキホーテホールディングス 広報室
【電話】03-5725-7666
【E-mail】pr@donki.co.jp

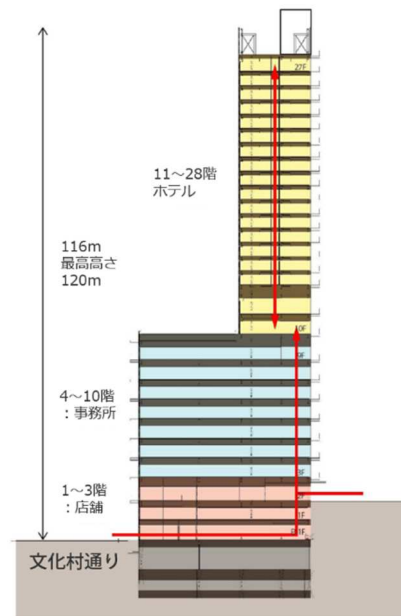
敷地の概要

(詳細)



建物概要 (断面構成)

- ・ 事業名称 : (仮称) 渋谷区道玄坂二丁目開発計画
- ・ 所在地 : 東京都渋谷区道玄坂二丁目1番6号 外
- ・ 建物高さ : 116m (最高 120m)
- ・ 規模 : 地上 28 階建、地下 1 階
* 建築基準法上 (地上 27 階建、地下 2 階)
- ・ 主要用途 : 店舗、事務所、ホテル、駐車場、駐輪場
- ・ 敷地面積 : 5,737.48 m² (1,736 坪)
- ・ 延床面積 : 40,950 m² (12,387 坪)
- ・ 構造 : 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、
鉄骨鉄筋コンクリート造



開発の全体スケジュール

| | 2017年 | | 2018年 | | 2019年 | | 2020年 | | 2021年 | | 2022年 | | | |
|----------|-------|----|---------|---|-------------------|----|-------|---|--------------------|----|-------|---|-------------------|--|
| | 9 | 12 | 3 | 6 | 9 | 12 | 3 | 6 | 9 | 12 | 3 | 6 | | |
| 既存建物解体工事 | | | 2018年1月 | | 2019年2月末(予定) | | | | | | | | | |
| 区画整理工事等 | | | | | 着工 2018年9月(予定) | | | | 完了 2020年12月(予定) | | | | | |
| 新築建物工事 | | | | | 着工 2019年1月(予定) | | | | | | | | 竣工 2022年4月(予定) | |

敷地の課題



開発の目標

1. 文化村通りの新しい拠点整備
 ～商業・事務所・ホテルの複合開発による拠点形成～
 - 商業：「街の結節点」となる立地特性を活かし、日常的に渋谷で暮らす、訪れる、働く人々への商業サービスを提供する
 - 事務所：クリエイティブなオフィスワーカーをターゲットとしたビジネス環境を作る
 - ホテル：渋谷のホテル需要に対する強化の一端を担う

2. 多様な回遊動線の創出
 ～エリアの活性化、楽しみながらの散策～
 - 駅周縁部に拠点を形成することで、渋谷全体における回遊ネットワークの活性化に貢献する
 - 敷地の中を動線で繋いでいくことで、街の新しい回遊空間を創出する

3. 防災・防犯性の向上
 ～安全・安心に繋がる街づくり～
 - 狭隘、行き止まり道路を一部撤廃し、敷地内に安全な道を通すことで防犯性の向上を図る
 - 老朽化した擁壁、建物を撤去し、耐震性の高い建築により大地震に備える
 - 11、12階のホテル共用部を帰宅困難者受け入れスペースに設定し、防災備蓄倉庫を配備することで、エリアの防災拠点として機能する